

令和6年度 大分県立美術館事業一覧(予定)

No	事業名	会期	会場	概要	観覧料(予定)
1	つくる展 —TASKO(タスコ)ファクトリーのひらめきをかたちに—	4月5日(金) ～5月6日(月・祝)	展示室A	世界最強ともいえる日本のものづくりを、さらに元気にしているアートファクトリー「TASKO(タスコ)」。本展は、TASKO作品の「ひらめきをかたち」にするユニークな視点や発想を五感を使ってさまざまに体験しながら、「つくる」の魅力を発見する展覧会です。ものづくりの不思議、おもしろさ、楽しさを見つけてみましょう！	一般 1,200(1,000)円 高校・大学生 1,000(800)円 小学・中学生 700(500)円
2	没後50年 福田平八郎	5月18日(土) ～7月15日(月・祝)	展示室B	大分市出身の日本画家・福田平八郎の没後50年の節目に開催する大規模な回顧展。《漣》(重要文化財)、《雨》などの代表作をはじめ、初期から晩年までの作品を一堂に展示し、日本美術の伝統を継承しながら近代的な新しい日本画の世界を切り拓いた平八郎の画業を紹介します。	一般 1,400(1,200)円 高校・大学生 1,000(800)円
3	養老孟司と小椋山賢二「虫展」～みて、かんじて、そしてかんがえよう	7月13日(土) ～8月25日(日)	展示室A	解剖学者であるとともに無類の昆虫愛好家、昆虫学者としても知られる養老孟司。深度合成技法を駆使し昆虫写真の新たな可能性を切り拓いた小椋山賢二。本展は、養老の言葉と小椋山の写真をとおして驚きと不思議に満ちた「虫」の世界を紹介します。	一般 1,300(1,100)円 高校・大学生 1,100(900)円 小学・中学生 700(500)円
4	江戸東京博物館コレクションより 北斎と広重 富嶽三十六景への挑戦	7月26日(金) ～9月8日(日)	コレクション展示室	葛飾北斎の「富嶽三十六景」は、鮮烈な色彩と大胆な構図で人々に強い衝撃を与えました。北斎の大ヒットの陰で、広重はどのように自らの画風を打ち立てたのでしょうか。本展は江戸東京博物館の貴重なコレクションを通して、風景画で双璧をなす北斎と広重のあくなき挑戦の数々をご紹介します。	一般 1,600(1,400)円 高校・大学生 1,200(1,000)円
5	生誕120周年 サルバドール・ダリ 一天才の秘密—	11月22日(金) ～1月19日(日)	展示室A	ダリの生誕120周年、シュルレアリスム宣言100年の節目に開催する本展は、諸橋近代美術館の所蔵品を中心にダリの生涯を概観します。ダリが観衆に魅せた「シュルレアリスト・ダリ」とその背景にある「人間・ダリ」の複雑で繊細な内面を探り、作品約70件と関連資料から、ダリがいかなる芸術家であったのか明らかにします。	一般 1,600(1,400)円 高校・大学生 1,200(1,000)円
6	生誕120年・没後50年 生野祥雲齋展	12月7日(土) ～1月23日(木)	展示室B	「竹芸」分野初の人間国宝、生野祥雲齋。本展では生誕120年・没後50年を記念し、その作品の全貌を展示します。唐物風の初期作から、古典的構成に楯目編を新たな感覚で取り入れた技巧的な作品群、さらに楯目編を大胆に用いた彫刻的な作品や、晩年の竹の素朴な美しさを生かした作品まで、幅広い作風の展開をご紹介します。	一般 1,200(1,000)円 高校・大学生 1,000(800)円
7	ザ・キャビンカンパニー大絵本美術展 <童堂賛歌>	2月7日(金) ～4月13日(日)	展示室A アトリウム	ザ・キャビンカンパニーは、大分県の廃校をアトリエにし、日々さまざまな作品を生み出している阿部健太朗と吉岡紗希による二人組の絵本作家／美術家。2009年のユニット結成以来手がけてきた40冊以上の絵本や立体作品、舞台美術など、「夢と驚きあふれる現代のアートびっく箱」ともいえる創作活動の全貌をご覧ください。	一般 1,400(1,200)円 高校・大学生 1,000(800)円

自主企画展

※観覧料の()内は前売りおよび20名以上の団体料金